

## 令和4年度 第6回河原地域振興会議議事概要

日 時 令和5年2月1日（水）13時30分～15時30分

場 所 河原町総合支所 大会議室

### 〔出席委員〕

竹田賢一、中村佳紀、林 昭男、奥谷仁美、楳原典子、下田和実、小谷加代子、坂本綾子、山下教幸

（順不同）

### 〔欠席委員〕

有田直政、西尾 敦、谷山吉雄

### 〔説明者〕

山名地域振興課課長補佐、中島地域振興課主事

### 〔事務局〕

九鬼支所長、武田副支所長兼地域振興課長併教委分室長、岡本産業建設課長、吉田地域振興課課長補佐

### 〔オブザーバー〕

なし

### 〔傍聴者〕

1名

### 会議次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 協議・報告事項
  - (1) 過疎計画の事業評価について
  - (2) 地域振興会議のあり方について
  - (3) その他
- 4 閉 会

### 議事概要

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 協議・報告事項
  - (1) 過疎計画の事業評価について  
説明者：地域振興課山名課長補佐
    - (委 員) 計画変更の考え方はどうか。5ヵ年の中で変更できるのか。
    - (地域振興課) 過疎計画の中には、事業の具体の中身は書かれていませんが、現在、年2回行っている事業項目の変更・追加は議会議決が必要となってきます。
    - (委 員) 三滝溪についてだが、新市域振興ビジョンには記載があるが、過疎計画には記載がない。  
三滝溪の施設をいつまでも閉鎖するのではなく有効活用してほしい。

- (地域振興課) そのあたりは辺地にあっているのです。そのことの兼ね合いもあります。辺地債の方が財源的には過疎債よりさらに有利です。
- (委員) 辺地はどここの地区か。
- (地域振興課) 河原町内では、北村と神馬のみです。ただし、ハードしか対象となりません。
- (事務局) 以前は小河内も入っていました。
- (事務局) 三滝は現在、施設管理ですが、宿泊施設などは何とかスタートさせたいと思います。来年度指定管理で三滝守り隊に出せたらと思っており、林務水産課と調整中です。
- また、第2分団消防車庫は旧西郷地区公民館の解体とセットとなります。
- (委員) 三滝溪まで行けることが大事だ。そうなれば素晴らしい風景を目的に、遠方からでもお客様が来ると思う。ソフト事業ともセットでお願いしたい。消防車庫についてだが、旧公民館に入れていた備品の置場所について困っている。
- (委員) コミュニティ除雪補助についてだが、部落ごとが基準か。部落の面積や世帯・人口には関係なく一律か。
- (事務局) 関係ないです。一部落あたりの補助金額は決まっています。なお、二部落合同で実施する場合は補助金の上限額が2倍になります。
- (委員) 除雪対象路線は変えているのか。
- (事務局) 今年度も少し変えています。地域からの要望を受けて変更しています。来シーズンについても要望を出していただければ対応可能です。なお、一定程度の幅員が除雪対象路線の条件となります。
- (委員) 空き家が増えて雪のかき手が少なくなっている。
- (委員) 曳田バイパス開通後の旧道は市道か。希望する路線が、なかなか除雪対象とならない。
- (事務局) そうです。除雪対象になっています。除雪対象路線は、工業団地の中の道路も含まれており、その分、総延長も伸びています。

## (2) 地域振興会議のあり方について

- (委員) 審議会時代は15人いた。各地域からの意見をもらうとなると5地区×3人で15人が理想である。
- (委員) 各地区の会長が集まる機会はない。
- (委員) ほかの地域振興会議では、移住の方、PTA、女性会、老人クラブなどから出てもらうなど地域性がある。12人は少ない。15人以内でもよいのでは。
- (事務局) 今の形が基本だと思います。女性や各地域の運営協議会などで15人は欲しいところです。
- (委員) 近い将来、小学校合併のこともある。PTAにも話に加わってもらいたい。また、高齢化もあるので老人クラブ会長に参加してもらいたい。時代に合わせて変えていくべき。
- (委員) 福祉の関係者も入れてはどうか。
- (委員) 青谷など人口の多いところは議題も多いだろう。人口による傾斜配分などで地域ごとに人数を変えるというのもありでは。
- (委員) 委員は変えずにオブザーバーとして都度来てもらうという手もある。

- (委員) 年間の開催回数は、8回が6回になったが、回数はこの程度でもよいのではないか。
- (委員) 会議で出てきた意見を市長に見てもらいたい。
- (委員) 移住定住の方も多いのでその人たちの意見も重要だ。子ども食堂及び福祉関係者も呼んではどうか。
- (委員) 年6回の限りもある中で、行政からの報告形式が多いので、例えば福祉・子育てなどのテーマを事前に決定し、関係者を呼んで河原町でできることを議論したり、現場の大変さを知ることによいのでは。例えば、フードドライブについての町内の動きや現状報告など仕組みを知る機会とするのもよいのではないか。
- (事務局) 毎回は難しいかもしれませんが、次回の議題を前回の会の最後で決めたほうがよいでしょう。
- 次年度からは各地区をまわり、まちづくりの様子を学ぶのも面白いと思います。
- (委員) 地域の思いや要望を出すのもよいのでは。
- (委員) 地域振興会議として要望項目に対する回答をもらうという仕組みがほしい。
- (委員) 要望項目を整理する場として機能させてはどうか。
- (委員) 市の総合計画や過疎計画もある中で、振興会議だけで新たなビジョンを作成するのは大変だが、過疎計画をよく議論していくことがあってもよい。
- (委員) 課題が出てきたことに対して本課などから詳しい説明をってもらうという仕組みも必要だ。
- (委員) 議題によっては本課が難色を示すこともあるだろう。振興会議も支所と一緒にやっていく体制が必要だ。
- (事務局) 例えば鹿野地域など、地域の大きな課題について、市長に対する要望書もだしています。
- (委員) コロナでいろいろなことが可能になった。リモートするところや一緒になって体育の授業をするなど様々な工夫が考えられる。(統合したばあいでも)
- (事務局) 各地域の実情をもっと知る必要があると感じました。
- 今回出た意見をまとめさせていただいて一回皆さんに見ていただいて再度修正意見等あれば頂く形としたいと思います。

### (3) その他(委員提出案件)

- (事務局) 多面的機能事業の支払いは確かに大分遅れていました。国の事務が遅れていたようです。
- (委員) なるべく早く支給できるようにしていただきたい。

## 4 閉会